

まつもと じゅん
松本純

中区・磯子区・金沢区
**まちかど
政治瓦版**

平成19年4月1日号
発行 かながわ1区支部
編集長 平木 茂



4月号
2007年
No.50

松本純ホームページ 毎日更新中！ [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶検索キーワード「松本純」

チャンスは誰にでもある。自己実現を妨げない！ 広がる「格差社会」論議に、私はこう考えます

「日本で格差社会が進行している」という声を最近しきりに耳にします。所得格差、教育格差、地域間格差…など、その内容はさまざまですが、「小泉政権の構造改革が格差を加速させた」という人もいます。

ほんとうにそうなのでしょうが？ ここでは「所得格差」を考えてみましょう。

世帯ごとの所得格差を示す指標に「ジニ係数」があります。日本では、その数値が年々上がっているから所得格差が広がっているといわれます。しかし、この数値には高齢者世帯の年金収入は所得として参入されていません。つまり高齢化社会が進めば、ジニ係数は上がっていきます。ですから、最近では年金などを加えた別の指数が発表され、これによると、格差はむしろ改善されているといわれています。

正社員と非正社員間の所得格差はどうでしょうか。

確かに正社員の平均年収が約530万円なのに対し、派遣社員は約230万円、フリーターは約170万円という統計もあります。でも一時期、「契約社員やフリーターは、会社の人間関係やしがらみに縛られない新しいライフスタイル」ともてはやされました。そうした「仕事」に対する価値観の変化も、その背景にはあるのではないのでしょうか。

同僚間で生じる所得格差の原因としては、企業の多くが「成果主義」を導入したためと考えられています。日本では長い間、終身雇用制度の中で、横並びの昇進・昇給が常識でした。時代は、「頑張る人もそうでない人も賃金は同じ」から「頑張った人が多く報われる」へ移ってきたのです。

そこで私は、こう考えます。まず大事なことは、同じ条件で競争をスタートする「機会の均等」を社会システムとしてきちんと築き上げることです。これを別の言葉でいえば、「チャンスは誰にでもある。自己実現を妨げてはいけない」ということです。

そして、これを妨げる仕組みがあれば排除することが政治の仕事です。正社員、非正社員の格差は、生じた理由はあったとしても、これを固定化してはいけません。いわゆる「勝ち組」に対して「負け組」といわれる人にはやり直す機会が与えられる、つまり「再チャレンジ」が可能な社会をつくること、今求められているのではないのでしょうか



松本議員の国会レポート③⑨

平成19年

【3月4日(日)】

- 午後1時 ●内藤哲夫先生旭日双光章受章祝賀会
- 午後2時 ●濱睦事始神事・新年会
- 午後6時 ●日本薬剤師会第2回東京・関東ブロック会議懇親会

野毛を本拠とする神輿の会「濱睦」（亀井勝治会長）は会員約60人。私も会員の一人です。地元の子之大神例大祭をはじめ、お三の宮日枝神社、金沢八幡神社、関内まつり、鎌倉市民パレードなど横浜市内、県内の祭りに参加し、さらに神田明神、浅草三社まつりなどにも遠征しています。まさに祭りにはなくてはならない存在。例年3月からの始動ですが、集まった全員で「今年も元気に祭りを盛り上げましょう」と誓い合いました。

【3月5日(月)】

- 正午 ●故田中栄治氏告別式
- 午後7時 ●米国在住日系人一行との夕食懇談会

アイリーン平野女史の案内で、日系米国人の皆さんが来日されました。平野さんはロサンゼルスにある全米日系人博物館の館長で、4年前、河野太郎さんらと一緒に渡米したときに初めてお会いしました。今回は米国側が日本を訪問する番で、中華料理店で会食のあと、恒例のカラオケへ。おもしろいのは彼らのカラオケの楽しみ方で、これが全員で合唱するスタイル。これなら日本式にマイクを奪い合うこともなく、友好的でいいですね。

【3月7日(水)】

- 午前8時 ●自民党厚生労働部会
- 午前11時 ●総務省総括審議官と打ち合わせ
- 午前11時30分 ●麻生太郎事務所
- 正午 ●社会保障制度調査会医療委員会の歯科診療に関するプロジェクトチーム
- 午後7時30分 ●中川秀直幹事長との懇談会

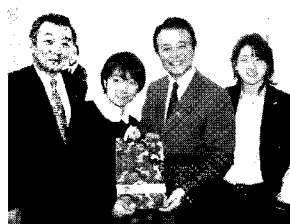
知人のお嬢さん、木坂麻衣子さんと網野香奈江さんが私の事務所にやってきました。二人は麻生太郎外相の大ファンで、なんと麻生さんの顔をプリントしたクリアファイル（書類をはさむ文具）を作ったというのです。それなら麻生さんの許可を得なければ、というわけで一緒に麻生事務所へ。二人の労作を手にした麻生さんは「これからもっと作ろう」とご機嫌。これで二人の緊張もとけて、笑顔で麻生さんとの記念写真におさまりました。



▲2/21 母校・本町小学校の6年生が国会見学にやってきました。



▲3/4 祭りの季節に大活躍！御輿会「濱睦会」が活動開始です。



▲3/7 麻生太郎大ファンのお二人が麻生さんのクリアファイルを制作！



▲3/14 「八丈島フリージアまつり」表敬訪問でミス八丈島と。

永田町日記 羽田空港の再拡張着工。「神奈川口」実現の正念場です

羽田空港に4本目の滑走路を新設する再拡張工事が3月30日に着工しました。現滑走路の沖側を埋め立てて2500メートル滑走路を建設するもので、2010年10月末の運用開始を目指しています。完成すると、航空機の発着回数が約4割増え、国内線が大幅に増便できるだけでなく、中国や韓国など近距離の国際定期路線も開設される予定です。この羽田再拡張に関連して神奈川県や横浜市、川崎市は、空港の多摩川寄りに空港ターミナル機能を備えた「神奈川口」を開設することを国に要望しています。これが実現すれば、横浜市民にとって国際空港・羽田の利便性が格段に向上するわけで、着工を機にその具体化を図らなければなりません。この問題に長年関わってきた私にとっては、これからの正念場です。（純）

まつもと じゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市長(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議院2期目。総務大臣政務官に就任。▶平成17年～衆議院3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国形をつくるため奮闘。▶平成17年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営等に取り組む。▶平成18年9月～安倍内閣で自民党副幹事長に